

業員組合の反動化と無力化を痛恨し、然かも寄宿舎婦人が先頭となり、大なる犠牲を拂ひつゝ遂に、再度總同盟へ復歸吾輩支部の再建、平塚支部の従業員全員吾が組合加入等の如き、健實なる吾が組合の運動は、實力的にその効果を發揮して近年稀れなる躍進を見た。

二、今年の新設支部は四ヶ支部一分會にして、解體支部は一支部三分會である。

三、金町支部の解體せるは、同一工場内に二つの組合が對立する事は、労働組合として充分な機能を發揮し得ず爲めにその効果少いからと云ふのである、横断組合より縦断組合へ、それが如何なる條件を伴ふとも、一步退却を示し逆轉を意味するものである。又、其の縦断組合が如

組織部一覽

支部名	創立月日	創立事情	工場名	会社の態度	製品名
八王子支部	五、八、十二	貸下	久保田織物工業	姑息	絹織物加工
同加工分會	五、十一、十一	貸下	高取工場その他	厚迫せず	同
友禪工支部	六、四、十八	職業組合より躍進	江戸支店工場その他	同	友禪加工
香煙支部	六、四、二十九	御用組合より脱退	京モス織物工場	同	モスリン紡織
平塚支部	六、六、十四	生活不安	京モス織物工場	通商ならず	絹糸紡織

解體支部

支部名	解體月日	社名	理由
金町支部	五、十一	京モス金町工場	縦断組合結成
練馬分會	同	洋モス練馬工場	幹部解雇
静岡分會	同	静岡工場	自然消滅
荏原分會	同	矢崎毛絲	幹部解雇

支部 十一 分會 二 組合員數 男一五六八名 計四、六五七名  
 女三〇八九名  
 支部組織會社及下場の全従業員數は一五、六七二名、内婦人一、九六四名にして、組織労働者はその二九、八〇である。日本に於ける織維労働者に對して組織労働者はその



調査部

調査部の仕事は中々容易なものではない。増して尤も巧妙なる工賃の算定方法を以て二重搾取を平然と行ふても従業員には皆目分らない、仕事と収入の關係等の調査は實に

何に強固なるものにせよ、其の必然的結果は、最右翼化し反動團體となるか、或は最左翼化し遂に組織を潰滅せしむるか即ち健實な労働組合をして、邪道に導く性質と條件を含むものである、我等は、京モス吾輩工場にその良き事例を見るのである、金町支部の諸君の將來は果して如何。

四、新支部組織により、一千九百十名(内婦人一千十名)の組合員を獲得したりと雖も、支部解體、工場閉鎖、或は縮小による、大量解雇その犠牲及組合壓迫に依り約七百名の減少を見た結果、差引八百十名の増加にして、現在組合員は、男一千五百六十八名、婦人三千八十九名、計四千六百五十七名である。

五、である事を對提し我等は、組織運動が存に於て同時に又重大であるかを考へねばならぬ、先づ組織工場内に於て我等の運動が何故に後期の効果を擧げ得ざりしかその理由、原因を、究明しなければならぬ各支部の情勢を列記す。

- 全員加入工場 二支部 他組合對立工場 三支部
- 會社の壓迫工場 三支部 御用團體對立工場 二支部
- 左翼中間派の運動に災され労働組合の信頼を失つた工場 二支部及その他一支部である。
- 地方別組織 東京七、神奈川三、静岡二、愛知二
- 工場會社別 會社八、工場三十二
- 製品別 綿紡二、モス四、絹紡二、麻絲紡一、染色及加工四

部長池善次

困難である。  
 此の困難な事情の下に各支部調査部の協力を得て、左記事項を調査し組合關係工場とを比較し其の統計等を極く小